

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公園緑地事務所等の管理運営				款	5	項	2	目	2	事業	2	整理番号	387			
担当部課名		都市整備部みどり公園課				係名	管理係			連絡先電話番号	3572		昨年度整理番号	481		枝番号		
上位施策No・施策名		13 公園づくり				予算事業区分												
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	47	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人		<input type="checkbox"/> 世帯		<input type="checkbox"/> 団体		<input checked="" type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 都市公園法、杉並区公園条例、同条例施行規則 (2) 杉並区公園緑地事務所処務規程					
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		公園緑地事務所及び公園管理事務所の管理運営を行い、公園維持管理ほか他事業の事業執行を円滑にする。		活動指標名(式)		(1) 対象事務所数		(2) 対象管理面積									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		公園緑地事務所及び公園管理事務所の施設・設備維持、事業所における業務運営を補佐する。		成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1)		算定式・指標の説明等		成果指標名(2)		算定式・指標の説明等					
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%					
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度					
指標	活動指標(1)		園	9		9		9		9		10		11				
	活動指標(2)		m ²	6,051		6,051		6,051		6,051		6,306		7,228				
	成果指標(1)																	
	成果指標(2)																	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	37,206		43,856		37,372		43,039		39,297		57,192		20年度予算執行率%	91.3	
	(内)投資的経費等		千円	0		0		0		0		0		0		特記事項 活動指標(2)を修正(柏の宮の面積が修正されていなかったため) 職員数(非常勤)を修正(柏の宮の非常勤が反映されていなかったため)		
	(内)委託費		千円	9,167		10,011		9,353		20,830		20,307		29,907				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.40	5.08	1.40	5.08	1.40	5.08	1.40	5.08	1.40	6.42	1.40	6.40			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	12,684		12,796		12,796		12,670		12,670		12,670				
		(内)非常勤職員分	千円	14,376		14,072		14,072		14,224		17,976		17,920				
	総事業費 + +		千円	64,266		70,724		64,240		69,933		69,943		87,782				
	単位あたりコスト (-) ÷		円	7,140,667		7,858,222		7,137,778		7,770,333		7,771,444		8,778,200				
	財源	受益者負担分		千円	1,262		1,494		1,320		1,561		1,386		2,588			
		国からの補助金等		千円	0		0		0		0		0		0			
都からの補助金等		千円	/		/		/		/		/		/					
その他の補助金等		千円	/		/		/		/		/		/					
特定財源計 + + +		千円	1,262		1,494		1,320		1,561		1,386		2,588					
差引:一般財源 -		千円	63,004		69,230		62,920		68,372		68,557		85,194					
受益者負担比率 ÷		%	2.0		2.1		2.1		2.2		2.0		2.9					

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 387

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		光熱水費	9	園	12,002
		建物等管理委託料(委託等)	9	園	9,388
		事務所保守管理(委託等)	9	園	9,694
		一般需用費	9	園	5,931
		その他(通信運搬費、賃借料、謝礼金)			2,282
(2)事業実績	光熱水費をはじめとする固定費の削減に努めているが、若干増加してしまった。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区立公園の数・総面積 S47年度 46園 160,449.21㎡ H19年度 300園 524,673.96㎡ (S47年は最初の公園管理事務所である児童交通公園の開園年)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区民から出される意見要望は、公園利用、公園施設利用、公園の管理状態(清掃等含む)に関するものが大半である。職員の接客等については、苦情も見受けられるときがあるが、全体として良好である。7つの公園で毎月利用者アンケートを取っているが、概ね評価は良い。
	今後の予測	公園管理事務所における接客については、引き続きレベルの向上が要求されると思われる。施設維持だけでなく、管理事務所の役割の向上が求められる。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	公園緑地事務所及び公園管理事務所は、安全で利用しやすい公園にするための保全活動や、法令等に基づいた適切な利用を進めるための第一線の職場である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	公園管理という旧態の意識から、より多くの人に利用されるよう、公園を活用した事業の実施等、職員の意識改革が求められる。本庁・公園緑地事務所・公園管理事務所の情報伝達をスイッチパソコンを導入し効率化することにより、事務の生産性を向上させる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	受益者負担は茶室使用料が主なものであり、改定は困難だが、利用者の少ない柏の宮の茶室をPRし、利用増を図る。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[民営化・外部委託化](具体的内容)	管理事務所の運営を民間事業者へ委託、または指定管理者に行わせる。新規開設に伴う人員増等のコストを抑えるとともに、施設の特色を生かした事務所運営等が期待できる。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(3)へ
	(3) 協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	大規模公園や災害時の地域拠点となる公園にはその機能を維持するための管理事務所が必要である。近年、建築物等の保全管理に関する基準は厳しくなる傾向にあり、保守点検等のコストは増大傾向にあるが、引き続きコスト削減に努める。 管理事務所の役割について利用者の要求が高まる傾向にある中で、管理事務所の職員側の認識や接遇レベルが伴っていないので、その能力向上を進める。また、区の課題等にリアルタイムな情報共有ができていない。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 角川庭園の開園に伴い、詩歌館の運営のための事務所経費の増がある。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 22年度中には(仮称)桃井中央公園が開園することに伴い、管理事務所の運営形態をどのようにするかが課題。他の公園管理事務所を含め、指定管理者・業者委託等考検討する。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	22年度中には(仮称)桃井中央公園が開園することに伴い、管理事務所を新規開設する。

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公園の維持管理			款	5	項	4	目	1	事業	1	整理番号	421		
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	3584		昨年度整理番号	482		枝番号	
上位施策No・施策名		13 公園づくり			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理					根拠法令等 (1) 都市公園法 (2) 杉並区公園条例										
	区立公園303園 公園利用者															
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民が安全で快適に利用できる公園にします。					活動指標名(式) (1) 区立公園管理面積 (2) 区民要望件数し										
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の公園維持管理					成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区民意向調査の回答で公園・広場が「良い」「まあ良い」の割合 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等											
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
			実績		計画		実績		計画	実績		計画				
指標	活動指標(1)		m ²	524,674	533,650	533,288	556,183	533,540	561,857	602,832	88.5	95.9				
	活動指標(2)		件	1,545	0	1,482	0	1,243	0	0						
	成果指標(1)		%	65.9	70.0	67.0	73.0	72.4	75.0	80.0	90.5	99.2				
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	591,105	590,203	574,946	618,648	608,362	620,607	20年度予算執行率%			98.3			
	(内)投資的経費等		千円	2,188	985	974	1,577	1,566	201	特記事項						
	(内)委託費		千円	521,819	519,917	505,618	522,048	513,143	509,678							
	職員数(常勤 非常勤)		人	38.88 43.40	38.20 43.20	38.56 44.59	36.00 43.81	33.67 43.29	30.00 45.92							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	352,253	349,148	352,438	325,800	304,714	271,500							
		(内)非常勤職員分	千円	122,822	119,664	123,514	122,668	121,212	128,576							
	総事業費 + +		千円	1,066,180	1,059,015	1,050,898	1,067,116	1,034,288	1,020,683							
	単位あたりコスト (-)÷		円	2,028	1,983	1,969	1,916	1,936	1,816							
	財源	受益者負担分		千円	10,807	11,752	11,077	10,846	11,107					10,846		
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0					0		
		都からの補助金等		千円	/	/	/	0	0					0		
		その他の補助金等		千円	/	/	/	0	0					0		
特定財源計 + + +		千円	10,807	11,752	11,077	10,846	11,107	10,846								
差引:一般財源 -		千円	1,055,373	1,047,263	1,039,821	1,056,270	1,023,181	1,009,837								
受益者負担比率 ÷		%	1.0	1.1	1.1	1.0	1.1	1.1								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 421

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		園地清掃委託	533,540	m ²	139,011
		樹木、花壇等管理委託	533,540	m ²	124,552
		遊具等公園施設補修工事	303	園	75,292
		流れ、排水設備、防災設備等保守点検委託	303	園	66,868
		その他(その他の園地維持管理費)			202,639
	(2)事業実績	杉並行政サービス民間事業化提案制度による公園便所・公衆便所維持管理の一括委託を、区の1/6の地域でモデル事業として実施しました。 また、老朽化した木製遊具を集中的に改修し、より安全性の高い遊具に交換しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区立公園は昭和49年に100園、昭和60年に200園を超え、平成20年度末に304園に増えました。そのうち約1/3は1970年代に開園しており、これらの公園では老朽化が進み、球戯場や木製遊具が劣化してきています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	公園利用者からはゴミの不法投棄、路上生活者による不正利用、犬の連れ込みなどの苦情が、また、近隣住民の方からは、樹木の剪定及び落ち葉の清掃についての苦情があります。一方でみどりの保存やオープンスペースの確保のため公園の新設を希望する声もあります。また、注意看板は老朽化や利用方法の変化に伴い、内容の見直しが必要です。
	今後の予測	公園の老朽化がすすむ一方で、公園の安全・安心、快適性への関心がいっそう高まると思われます。22年度末に区で2番目に広い(仮称)桃井中央公園が開園する予定です。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい	左の理由または具体的内容	
	貢献度 大(理由)	公園は都市環境の改善、防災、景観、健康・レクリエーションなどの機能を持ち、これを適正に維持管理することにより、機能を最大限発揮します。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	公園の維持管理は区が主体的に行うものではあるが、区と区民等の役割分担を明確に行い、地域住民による自主的な維持管理活動の支援を行います。	
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	受益の対象は不特定多数の区民であり、区の責任で維持管理するものとする。		
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	安全・快適な公園のための維持管理であり、必要なコストと考える。		

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題
杉並行政サービス民間事業化提案制度により、公園・公衆便所の維持管理委託のモデル事業を導入したことで、巡回業務が強化され、トイレの汚れに早く対応できるようになりました。限られた経費と職員数のなかで安全・安心な公園を維持するため、今後実施区域を広げながら詳しく検証する予定です。
また、21年度は引き続き木製遊具の改修を重点的に行い、他の施設についても優先順位を考え効率的に改修を行っていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト:	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	「花咲かせ隊」「すぎなみ公園育て組」は順調に増え、地域住民による自主的な公園維持管理に寄与しています。		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 杉並行政サービス民間事業化提案制度により、既存の業務の一部見直しことができました。他の業務においても見直しを行い、公園の維持管理業務の効率化、サービスの向上を図ります。		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	園地清掃、樹木剪定、除草、流れ保守など、公園は道路や建築物より維持管理作業の種類が多いため、委託化の見直しの場合、検討する事項が数多くあります。		
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理由	公園の維持管理費の単価、公園面積ともに大きな変化がありません。

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公園事業			款	5	項	4	目	1	事業	2	整理番号	422		
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園利用係			連絡先電話番号	3587		昨年度整理番号	483	枝番号		
上位施策No・施策名		13 公園づくり			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	12年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等			(1) 都市公園法 (2) 杉並区公園条例								
	公園利用者	公園ボランティア団体			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			活動指標名(式) (1) 公園ボランティア団体数 (2) 夜間警備車両台数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	公園利用調整:公園内の占用利用の調整や受付許可を行う。また、占用者へ一般利用者や近隣への安全対策などの調整打合せを行う。 公園利用指導:不適切な公園利用に対し、職員や夜間警備パトロールによる適正利用指導を行う。 公園ボランティア活動支援:公園内の管理活動に携わる団体に対して必要な資材などを提供し活動の支援を行う。			成果指標			(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代) 占用申請利用件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) (代) 要望件数 ÷ 公園数 算定式・指標の説明等 児童遊園、遊び場合む								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度					
指標	活動指標(1)		団体	118	135	138	145	145	165	155	93.5	100.0				
	活動指標(2)		台	1,097	1,099	1,099	1,097	1,097	1,097	1,097	100.0	100.0				
	成果指標(1)		件	636	700	958	700	618	700	700	88.3	88.3				
	成果指標(2)		件	5.58	5.00	5.21	5.00	4.90	5.00	5.00	98.0	98.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	55,776	61,493	58,622	62,713	59,734	64,553	20年度予算執行率% 95.2						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		千円	46,869	49,108	48,702	48,452	48,478	51,032	平成21年3月31日公園数 区立公園 = 247 区立児童遊園 = 51 緑地 = 5 遊び場 = 16 計 319						
	職員数(常勤 非常勤)		人	4.15 0.00	4.00 0.00	4.17 0.00	4.00 0.00	4.57 0.00	3.20 1.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	37,599	36,560	38,114	36,200	41,359	28,960							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	2,800							
	総事業費 + +		千円	93,375	98,053	96,736	98,913	101,093	96,313							
	単位あたりコスト (-) ÷		円	791,314	726,319	700,986	682,159	697,193	583,715							
	財源	受益者負担分		千円	17	60	44	946	1,373	947						
		国からの補助金等		千円	2,000	2,000	2,000									
都からの補助金等		千円														
その他の補助金等		千円				2,000	0	2,000								
特定財源計 + + +		千円	2,017	2,060	2,044	2,946	1,373	2,947								
差引:一般財源 -		千円	91,358	95,993	94,692	95,967	99,720	93,366								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.1	0.0	1.0	1.4	1.0								

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 422

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		夜間警備経費	1097	台	44,300
		花咲かせ隊事業(委託等)	109	団体	8,129
		動物ふれあい広場	1	回	1,798
		公園育て組経費(委託等)	36	団体	2,413
その他(大田黒公園ライトアップ経費ほか)					3,094
(2)事業実績	20年度末、すぎなみ公園育て組は36団体であり、19年度末32団体から4団体が増えました。花咲かせ隊については、100団体を超過して109団体になりました。365日、区立公園の夜間警備を行い、迷惑行為に対して注意指導を行っています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度から始まった「花咲かせ隊」、16年度開始の「すぎなみ公園育て組」ともに認知度が上がり、拡大しています。今年度の「育て組」の増加は、地域や自治会の参加がありました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	公園の夜間巡回警備の実施により、夜間の迷惑行為に対し、具体的な対応策がとれるようになり、このため夜間に起因する苦情要望について、区民から一定の評価をいただいています。花咲かせ隊、公園育て組の活動についても、公園の手入れや、美しい花壇に感謝の言葉をいただいています。
	今後の予測	「花咲かせ隊」は、増加を予定しています。高齢者の団体が多く、世代交代が予想されます。一方「花咲かせ隊」の活動者が、幅広い活動が出来る「公園育て組」に加わっていくと考えられ、これらの団体の連携も必要となります。なお、今後は早朝と夕方における公園迷惑利用対策の増加が考えられます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	ボランティアの参加が、公園を地域の財産であると再認識するきっかけ作りとなり、きれいな公園が新たな公園利用者を増やしていきます。また、夜間警備が迷惑利用の防止に加え、施設点検もも担っているため、すばやい対応ができ、公園の良好な維持管理の実現につながっています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	今以上に成果を上げるためには、ボランティア参加団体数を増やすことが必要です。ボランティア活動への資材提供等、活動支援経費が増加します。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	本事業の公園ボランティアの支援は、区民と区の協働であり、受益者は地域住民、公園利用者であるため、受益者負担を求めません。夜間警備も受益者負担に適用しません。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	「公園育て組」をはじめとするボランティア活動の支援は、団体数が増えて初期投資が必要となり、コストが増加します。すべての公園に「育て組」が参加して初めてコスト削減へ向かうことができます。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	「花咲かせ隊」「公園育て組」は、区立公園などにおいて、住民自身の花壇作り、清掃や植栽の手入れなどを通じ植物と土にふれあい、公園の維持に関わる活動が環境の改善に貢献し、地域コミュニティの活性化に寄与しています。今後は、ボランティア団体が主体的に活動し、その地域と一体となった、活動への支援や調整が区に求められます。夜間警備時間の公園迷惑利用に対する注意指導は、非常に効果が上がっています。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト:	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	花咲かせ隊の花材配布については、21年度から委託業者が花咲かせ隊団体と打合せ調整を行い、委託業者による花材配布を行っています。		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 花咲かせ隊については、事務量、予算が増加しています。花材の配布に係る調整については、委託業者への転換を進めます。夜間警備については、早朝及び夕方に起きる迷惑公園利用対策としてのパトロール方法などを考えます。		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	夜間警備について、予算の増が考えられるが、調整を行い効率的なパトロール運用を考えます。		
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理由	「すぎなみ公園育て組」については、スマートすぎなみ計画上、10団体増を計画しています。

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		遊び場の維持管理			款	5	項	4	目	1	事業	3	整理番号	423		
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	内3584		昨年度整理番号	484	枝番号		
上位施策No・施策名		13 公園づくり			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	46	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理								根拠法令等 (1) 杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱 (2) 先行取得用地の活用と管理について							
	区立遊び場(16ヶ所) 遊び場利用者															
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民が安全で快適に利用できる遊び場にします。								活動指標名(式) (1) 遊び場管理面積 (2) 区民要望件数							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 公園の先行取得用地や、他の公共団体や地主の好意による提供用地を活用した遊び場の整備 施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の遊び場維持管理								成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区民意向調査の回答で公園・広場が「良い」「まあ良い」の割合 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績		計画		実績		計画		22年度					
指標	活動指標(1)		m ²	104,991	105,261	106,147	107,975	105,905	105,151	26,275	403.1	98.1				
	活動指標(2)		件	102	0	97	0	63	0	0						
	成果指標(1)		%	65.9	70.0	67.0	73.0	72.4	75.0	80.0	90.5	99.2				
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	53,922	81,331	67,457	52,493	46,664	37,591	20年度予算執行率% 88.9						
	(内)投資的経費等		千円	18,270	20,479	16,953		0	0	特記事項						
	(内)委託費		千円	51,947	72,605	63,353	49,344	44,143	34,608	20年度は、梅雨時期の天候不順のため、除草回数が予定より少なかったことなどにより、予算の執行残が生じました。						
	職員数(常勤 非常勤)		人	5.66 0.00	5.50 0.00	6.42 0.00	4.80 0.40	4.80 0.00	3.70 0.00	21年度は(仮称)桃井中央公園整備工事のため、夏頃から桃井原っぱ広場(遊び場101番)を閉鎖するため、事業費が減額しています。						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	51,280	50,270	58,679	43,440	43,440	33,485							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	1,120	0	0							
	総事業費 + +		千円	105,202	131,601	126,136	97,053	90,104	71,076							
	単位あたりコスト (-)÷		円	828	1,056	1,029	899	851	676							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		千円				0	0	0								
その他の補助金等		千円				0	0	0								
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -		千円	105,202	131,601	126,136	97,053	90,104	71,076								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 423

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み	桃井原っぱ広場(遊び場101番)の清掃、除草、管理委託等(執)	40,000
(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	遊び場102番の清掃、除草、管理委託等(執)	52,686	m ²	14,738
	他の遊び場の樹木管理、除草等(執)	13,219	m ²	4,384
	他の遊び場の清掃等(執)	13,219	m ²	2,809
	その他(他の遊び場の維持補修ほか)			4,248
	(2)事業実績	区民が安全で快適に利用できるように遊び場を維持管理しました。		

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	遊び場は、公共施設建設などのために先行取得した用地を一時、公園の補完施設として活用するために昭和40年代から始まりました。その後、民有借地等も遊び場とする場合も出てきましたが、開設が長期化しています。また、現存の遊び場は、本格整備が行われないうまま老朽化が進んでいます。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	近くに子供が安心して遊べる場所があるのは好ましいと評価される一方、狭く小さな遊び場に対して近隣住民から騒音などの苦情が多くあります。また、身近な公園の設置状況が不足している地区においては、遊び場からの区立公園への変更を求める声もあります。
	今後の予測	区や都の公園整備事業にともない、今後も遊び場の設置・廃止が予想されます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	区民ひとりあたりの公園面積が少ない杉並区においては、先行取得用地等を遊び場として一般開放し、活用することは、大変有意義なことです。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	維持管理は区が主体的に行うものの、地域住民による自主的な維持管理活動には支援を行います。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	受益の対象が不特定多数の区民であり、遊び場の維持管理は区の責務です。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	遊び場施設の維持管理であり、必要なコストと考えます。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	区民ひとりあたりの公園面積が少ない杉並区においては、先行取得用地等を遊び場として一般開放し、活用することは、大変有意義なことです。一部の遊び場は長期化し、遊具等が老朽化している場合もあります。公園施設と同様に計画的に補修をしていきます。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	○ 現状維持	● 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)								
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 杉並行政サービス民間事業化提案制度による便所の維持管理業務の一括委託を、今後遊び場便所でもモデル実施します。								
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法								
22年度方針	(1) 22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	○ 減	● 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由 桃井原っぱ広場(遊び場101番)の公園造成工事が平成21年度の半ばから22年度末まであります。22年度は広場が一部を除いて閉鎖される為、遊び場の維持費が大幅に減少します。								

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 424

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(仮称)桃井中央公園整備負担金	40,000	m ²	1,450,737
	事務費				27
	その他 ()				0
(2)事業実績	(仮称)桃井中央公園の整備は、20年度は用地8,000m ² の取得を行いました。また、実施設計を行いました。また、地元の方の要望により、基本設計を見直しして樹木や水利施設などの公園施設を変更しました。さらに園地の一部に区苗圃等の樹木を活用した植栽工事を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区7地域のうち、5つの地域に7箇所の地域公園が整備されました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	(仮称)桃井中央公園の整備は、平成18年に基本設計を作成しましたが、より防災機能を重視した、シンプルな公園を望む声が地元からありました。			
	今後の予測	都市化の進行により、広大な公園用地の確保が難しくなっています。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 公園として整備することにより、地域のみどりを確保し、防災力の向上に寄与しています。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	耐久性等、コスト効果に優れた整備資材を選定することにより、整備の成果向上は期待できます。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	受益の対象が不特定多数の区民であり、地域公園の整備は区の責務です。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	(仮称)桃井中央公園の整備においては、既に支払い方法の見直しにより事業費を圧縮しました。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	(仮称)桃井中央公園の実施設計の作成にあたって、地域の方の要望を取り入れることで、防災機能を高めつつも現在の原っぱの外観を生かしたシンプルな公園を整備することになりました。この設計に基づき、21年度から2年間の造成工事が始まります。安全で、コストの圧縮に配慮した工事の施工に努めます。また、この園地はすでに多くの方の利用があるので、今後造成工事が終了した部分の一部開放を検討します。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	21年度から造成工事が行われるため、経費が増額しています。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 工事方法の工夫等によりコストの圧縮を図ります。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法									
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	用地取得、工事ともに21年度と同規模と見込まれるため、増減がありません。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		身近な公園の整備			款	5	項	4	目	1	事業	5	整理番号	425		
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	内3584			昨年度整理番号	486 枝番号		
上位施策No・施策名		13 公園づくり			予算事業区分								投資事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	1	政策番号	2	施策番号	2	事業コード	9	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等	(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条										
	区立公園 公園利用者				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	身近な公園の整備により、区民がみどりの中で憩い、ふれあうことができます。また、地域の防災性が向上して区民が安全・安心に生活できます。										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	身近な公園(1ha未満)の新設・拡張			活動指標名(式)	(1) 当該年度に新設した身近な公園数 (2) 当該年度に整備した身近な公園面積										
				成果指標	(代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
				成果指標名(1)	区民一人あたりの都区立公園面積											
				算定式・指標の説明等												
				成果指標名(2)	(代) 身近な公園の面積											
				算定式・指標の説明等												
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度					
指標	活動指標(1)		園	1	3	3	5	0	8	1	0.0	0.0				
	活動指標(2)		m ²	591	8,976	8,614	23,118	253	26,398	3,609	7.0	1.1				
	成果指標(1)		m ² /人	1.83	1.89	1.84	1.89	1.85	1.89	1.96	94.4	97.9				
	成果指標(2)		m ²	326,585	335,562	335,199	358,094	335,451	363,768	364,744	92.0	93.7				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	679,502	939,941	939,940	1,997,859	1,678,202	1,631,601	20年度予算執行率% 84.0						
	(内)投資的経費等		千円	679,502	939,941	939,940	1,997,859	1,678,202	1,631,601	特記事項						
	(内)委託費		千円	0	1,284	0	23,963	20,388	73,601	21年度への繰越明許費 314,000千円						
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.00 0.00	1.20 0.00	1.10 0.00	1.10 0.00	1.19 0.00	1.60 0.00	20年度は(仮称)高円寺北一丁目公園の用地を取得する予定でしたが、土壌に有害物質があったので、21年度に地権者である国が有害物質を除去したのちに取得することとなったため、予算の執行残が生じました。						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	9,060	10,968	10,054	9,955	10,770	14,480	身近な公園の整備の事業は用地取得費が大半を占めます。そのため、用地取得の有無により、年度ごとの事業費が大きく増減します。 成果指標(1)を平成20年度区政経営計画書の指標にあわせました。						
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	688,562	950,909	949,994	2,007,814	1,688,972	1,646,081							
	単位あたりコスト (-)÷		円	9,060,000	3,656,000	3,351,333	1,991,000		1,810,000							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0				0			
		国からの補助金等		千円	226,000	276,000	309,000	660,000	527,000				522,000			
都からの補助金等		千円				0	0	0								
その他の補助金等		千円				0	0	0								
特定財源計 + + +		千円	226,000	276,000	309,000	660,000	527,000	522,000								
差引:一般財源 -		千円	462,562	674,909	640,994	1,347,814	1,161,972	1,124,081								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 425

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内容	規模	単位	事業費(千円)
		成田西切通し緑地(旧遊び場104番)の用地取得	881.92	m ²	332,425
	(仮称)阿佐谷北公園の用地取得	829.83	m ²	470,192	
	(仮称)西荻北けやき公園の用地取得	855.28	m ²	421,691	
	成田西いこい緑地(旧成田いこいの森)の用地取得	1,513.02	m ²	332,864	
	その他(つくだ公園、読書の森公園の拡張)			121,030	
(2)事業実績	身近な公園の整備のため、つくだ公園隣地、成田西切通し緑地(旧遊び場104番)、(仮称)阿佐谷北公園、(仮称)西荻北けやき公園、成田西いこい緑地(旧成田いこいの森)の用地を取得しました。また、(仮称)高円寺北一丁目公園の用地を取得する予定でしたが、予算の一部を繰り越して、平成21年度に取得することとしました。また、つくだ公園と読書の森公園の拡張工事を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	地価の高騰により、用地取得に多大な経費がかかるようになっていきます。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	空き地や駐車場などの用地を公園として買収してほしいという要望があります。			
	今後の予測	みどりの保存やオープンスペースの確保のため、公園の整備を求める声は減らないと思われます。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 区民1人あたりの公園面積を少しでも増やすことができます。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	用地買収などが伴う場合があります。また、新規に公園を整備するので事業費がかかります。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	受益の対象が不特定多数の区民であることから見直し余地がありません。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	新たな施設を設置するため、コストを下げる余地がありません。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	平成20年度に取得した公園用地には、みどりが多く残されています。今後みどりを生かした公園や緑地となるように整備し、開園します。 平成21年度は(仮称)高円寺北一丁目公園の用地を取得する予定です。 今後、これらの公園を整備することで、区民がみどりの中で憩い、ふれあうとともに、まちの景観や防災性が向上できるように努めます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	公園事業補助制度を活用して、用地取得費の低減に努めました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	身近な公園の整備目標は1.5m ² /人(平成30年)ですが、現在0.61m ² /人程しかないので、今後も拡大していきます。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	用地の確保が財政面からも難しい状況にあります。他のまちづくり事業との連携、公園事業補助の活用等の検討が必要です。								
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	○ 減	● 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	当事業の経費の大半は用地取得費ですが、平成22年度に取得が予定されている公園用地が無いため、大幅な減少となります。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公園の改修			款	5	項	4	目	1	事業	6	整理番号	426		
担当部課名		都市整備部みどり公園課			係名	公園整備係			連絡先電話番号	内3584			昨年度整理番号	487	枝番号	
上位施策No・施策名		13 公園づくり			予算事業区分								投資事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	13年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	1	政策番号	2	施策番号	2	事業コード	9	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等	(1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条										
	区立公園 公園利用者				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	活動指標名(式) (1) 平成13年度からの改修公園数の累計 (2) 整備した特色あるコースの累計										
	公園の改修により、区民がより安全で快適に公園を利用できるようにします。 公園の特色づけにより、区民が公園で楽しく過ごせるようにします。				活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 公園改修率 算定式・指標の説明等 改修公園累計数/公園改修予定数(29園) 成果指標名(2) 特色あるコース整備率 算定式・指標の説明等 コース整備数/コース整備予定数(10)										
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度					
指標	活動指標(1)		園	13	14	15	18	18	21	29	62.1	100.0				
	活動指標(2)		コース	9.0	10.5	10.5	12.0	12.0	12.0	15.0	80.0	100.0				
	成果指標(1)		%	44.8	48.3	51.7	62.1	62.1	72.4	100.0	62.1	100.0				
	成果指標(2)		%	60.0	70.0	70.0	80.0	80.0	80.0	100.0	80.0	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	78,424	37,098	34,825	40,321	36,279	46,527	20年度予算執行率% 90.0						
	(内)投資的経費等		千円	78,424	37,098	34,825	40,321	36,279	46,527	特記事項						
	(内)委託費		千円	78,337	37,010	34,731	38,536	36,173	45,890							
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.50 0.00	2.40 0.00	2.48 0.00	1.20 0.00	1.88 0.00	1.80 0.00	21年度は実施計画で定めた改修予定の公園の面積の増により、事業額が増額しています。						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	22,650	21,936	22,667	10,860	17,014	16,290							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	101,074	59,034	57,492	51,181	53,293	62,817							
	単位あたりコスト (-)÷		円	1,742,308	1,566,857	1,511,133	603,333	945,222	775,714							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		千円				0	0	0								
その他の補助金等		千円				0	0	0								
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -		千円	101,074	59,034	57,492	51,181	53,293	62,817								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 426

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		梅里中央公園球戯場改修工事			20,475
		大宮児童公園施設改修工事	1,587	m ²	6,426
		特色ある公園づくり整備工事	11	園	5,460
		四宮森公園外1箇所球戯場部分改修工事			3,788
その他(事務費ほか)				130	
(2)事業実績	20年度は区実施計画の公園改修計画の一部見直し、球戯場の改修を重点的に行うこととしました。梅里中央公園の球戯場を全面的に改修して、安全で騒音面に配慮したものにしました。他に四宮森公園、井草さくら公園の球戯場も改修しました。また大宮児童公園の施設を改修しました。特色ある公園づくりでは、「夏を彩る花」「葉の色が変わる木」のテーマに沿って計11園で植栽等を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	現在300を超える区立公園のうち、約1/3が1970年代に開園しており、球戯場や木製遊具などが老朽化してきています。公園周辺の宅地化がすすみ、騒音対策の必要性が高まっています。少子高齢化により、公園利用者の対象がこどもからお年よりまで幅広くなっています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	既存の球戯場については、騒音やボールの飛び出しへの苦情が寄せられます。一方で新設の要望もあります。高齢者のための遊具を望む声が増えてきています。花木の植栽などで特色づけした公園が好評で、花の時期には多くの問い合わせがあります。
	今後の予測	区立公園が増えることにより、既存施設の老朽化がいつそう問題となります。また、公園に求める施設・機能がいつそう多様化すると思われます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	安全性の向上や公園の魅力付けができ、公園のリフレッシュが果たせます。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	現在区立公園は300箇所以上ありますが、改修のペースが一年に2園なので公園の老朽化に間に合いません。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	受益の対象が不特定多数の区民であるため、見直す余地がありません。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	公園全体を見直し、新たな魅力付けをするためには、コストを下げる余地がありません。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題
球戯場の改修により、利用者にも近隣者にも安全・安心な公園とすることができました。21年度も老朽化の著しい球戯場を優先的に改修していきます。限られた予算の中で公園の老朽化に対応する為、今後も実施計画の中に計画的な公園改修を反映させます。また、施設の長寿命化や安全の確保の為の計画を検討します。一方、特色づけした公園が好評です。より多くの方に利用していただく為、今後は公園の整備だけでなく、区HPやパンフレットの活用など、積極的なPR方法を考えます。

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト:	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	一部の球戯場の老朽化が著しく、そのため、実施計画を一部変更して球戯場の改修を優先しました。		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	区内の公園は、設置年度が古いものが多く、施設がかなり老朽化しています。特に球戯場・複合木製遊具などの主要施設が劣化している公園も多く、安全性を確保するため改修していかなければなりません。		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	財政的な制約の中で、的確な改修優先順位をつける必要があります。		
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	22年度は実施計画で定めた改修予定の公園の面積の増により、事業額が増額しています。		

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	公衆便所の維持管理			款	5	項	4	目	3	事業	1	整理番号	431			
担当部課名	都市整備部みどり公園課			係名	管理係			連絡先電話番号	3572			昨年度整理番号	491 枝番号			
上位施策No・施策名	13 公園づくり												予算事業区分			
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	28	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理										
	区立公衆便所17所											根拠法令等	(1) 杉並区公衆便所条例 (2) 地方自治法第2条第3項、第281条第2項			
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 公衆便所を適切に維持管理し、安全で快適な利用と周辺地域の環境衛生保持を行う。											活動指標名(式)	(1) 公衆便所数 (2) 定期清掃回数(年間延べ回数)			
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 公衆便所の定期的な清掃、管理及び機能を保持するための維持補修を行う。											成果指標	(代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
											成果指標名(1)	(代)公衆便所のバリアフリー率				
											算定式・指標の説明等	バリアフリー化された便所数 ÷ 公衆便所数				
											成果指標名(2)					
											算定式・指標の説明等					
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績		計画		実績		計画		22年度					
指標	活動指標(1)	所	16		17		17		17		17	100.0	100.0			
	活動指標(2)	回	4,026		4,392		4,567		4,990		8,030	12,410	64.7	160.9		
	成果指標(1)	%	56		53		53		53		53	59	89.8	100.0		
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費	千円	13,159		15,577		14,879		17,479		17,074	16,704	20年度予算執行率%	97.7		
	(内)投資的経費等	千円	0		0		0		0		0	0	特記事項			
	(内)委託費	千円	8,833		10,556		10,097		12,597		12,297	12,608				
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.10	0.00	2.10	0.00	2.02	0.00	1.70	0.20	1.73	0.00	1.70	0.00		
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	19,026		19,194		18,463		15,385		15,657	15,385			
		(内)非常勤職員分	千円	0		0		0		560		0	0			
	総事業費 + +	千円	32,185		34,771		33,342		33,424		32,731	32,089				
	単位あたりコスト (-) ÷	円	2,011,563		2,045,353		1,961,294		1,966,118		1,925,353	1,887,588				
	財源	受益者負担分	千円	0		0		0		0		0	0			
		国からの補助金等	千円	0		0		0		0		0	0			
		都からの補助金等	千円	0		0		0		0		0	0			
		その他の補助金等	千円	0		0		0		0		0	0			
特定財源計 + + +		千円	0		0		0		0		0	0				
差引:一般財源 -		千円	32,185		34,771		33,342		33,424		32,731	32,089				
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0					

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 431

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		地域別ブロック方式清掃委託	12	所	5,074
	モデル事業公衆便所の清掃	5	所	6,094	
	公衆便所の光熱水費	17	所	3,765	
	公衆便所の維持補修	17	所	1,897	
	その他(管理運営費、樹木管理)			244	
(2)事業実績	17箇所中5箇所において民間事業化提案による委託を行いました。コストは大きく変わりませんが、清掃回数の見直し、巡回点検により、利用者からの苦情等は減りました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	公衆便所箇所 昭和49年～現在 17箇所 公園便所箇所 昭和56年 126箇所 昭和60年 142箇所 平成元年 164箇所 平成5年 183箇所 平成12年 201箇所 平成19年 204箇所
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	「トイレが常に清潔で使いやすい状態であること」といった日常管理に関する要望が多い。また、高齢者、障害者など、身体機能に支障がある人を含め誰もが使いやすく安全な施設であることを望む声もあります。
	今後の予測	震災時等帰宅困難者が発生した場合に、トイレトペーパーや水道の確保などの課題に対応できる体制の確立が求められます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	快適なまちを保持するため、また、まちの環境美化のため、公衆便所の存在は不可欠です。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	清掃の民間事業化により、事業者による主体的な維持管理向上が期待されます。バリアフリー化については、民間事業化の進行を見ながら、予算を含めた改修計画を検討します。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	誰もがいつでも気軽に利用できる公衆トイレの存在意義からして、トイレの有料化は現時点で時期尚早と思われます。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	現在の経費は、維持管理に必要な最低限の範囲となっています。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題	施設の老朽化・経年劣化の中で、清潔で利用しやすい公衆便所を維持することは年々困難になっています。従来どおりの清掃委託だけでは便所機能の向上が期待できない中、20年度は公園便所とあわせ民間事業化モデル事業を一部実施しました。特別清掃をあわせて行ったこともあり、一定のレベルを維持できたと考えます。21年度はさらに3箇所増やしますが、事業者の対応力を含めどのように運営していくのが望ましいか見極めなければなりません。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 民間事業化提案事業による清掃回数の増。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 民間事業化事業を、公園便所とあわせて21年度は3箇所増、22年度は全ての公衆便所で実施します。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 全ての便所に拡大した場合、事業者側にきちんと履行できる能力があるか、他によりより実施方法がないか検証が必要です。	
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理由 コストは維持しながら成果の増を追求します。